

千葉市の歯科保健対策の現状

対 象	歯科的特徴	歯科的問題点	歯・口腔の健康づくりのための取り組み内容		現 状	
			事 業 名	ね ら い	指標の状況(ベースライン→中間値・目標値)	平成22年度事業実績
妊産婦	生理的变化	永久歯むし歯の増加 歯周病の急増	◇妊産婦歯科健診	歯科疾患の予防・早期発見 養育者感染の予防		◇妊産婦歯科健診 2,469人/8,730人(受診率 28.3%) ◇産婦歯科健診 1,465人/8,310人(受診率19.8%)  ◇母親&父親学級 62回 1,578人(初妊婦37.1%受講)
			◇母親&父親学級	妊産婦歯科健診の推奨 妊娠中の口腔ケアに対する意識の向上 胎児の歯の形成時期における栄養摂取の啓発 乳幼児の口腔ケアに対する意識の向上		
胎 児	歯の形成期					
乳 児	乳前歯の萌出期	バランスのとれた栄養摂取が必要	◇4か月児健康診査(ミニ健康教育)	乳児期からの口腔ケアの実施方法の啓発 養育者感染の予防 間食・甘味飲料摂取時の注意		◇4か月児健康診査 8,108人/8,405人(受診率 96.5%)  ◇乳幼児歯科相談 174回 1,726人
			◇乳幼児歯科相談	かかりつけ歯科医での定期健診・フッ化物応用の推奨		
幼児(1～3歳)	乳臼歯の萌出時期	乳歯むし歯の発生しやすい時期 (甘味の不規則摂取等)	◇1歳6か月児歯科健診 ◇3歳児歯科健診	むし歯の予防 歯と口腔の清掃指導 間食・甘味飲料摂取時の注意 不正咬合等の早期発見 かかりつけ歯科医での定期健診・フッ化物応用の推奨	◇仕上げ歯磨きがされていない1歳6か月児の割合 (ベース13.6%→中間12.2%・目標10%以下)  ◇甘味食品を頻回摂取する1歳6か月児の割合 (ベース10.3%・目標8%以下) * H23:調査中  ◇むし歯のある3歳児の割合 (ベース35.7%→中間27.1%・目標20%以下)  ◇フッ化物歯面塗布を受けたことのある3歳児の割合 (ベース29.8%→中間32.5%・目標50%以上)	◇1歳6か月児歯科健診 8,087人/8,731人(受診率 92.6%) う蝕有病者率 3.3% う蝕有病者の平均う蝕数 2.89本/人 健診受診者の一人平均う蝕数 0.10本 仕上げ歯磨きがされていない1歳6か月児の割合 <u>9.6%</u>  ◇3歳児歯科健診 7,895人/8,727人(受診率 90.5%) う蝕有病者率 <u>24.3%</u> う蝕有病者の平均う蝕数 3.66本/人 健診受診者の一人平均う蝕数 0.89本 フッ化物歯面塗布を受けたことのある3歳児の割合 <u>36.0%</u>
	乳歯列の完成期	乳歯むし歯の急増期	◇2歳児むし歯予防教室	ハイリスク児(1歳6か月児歯科健診でO2[むし歯の誘因性が高い]とむし歯と判定された児等)に対して重点的な保健指導を実施し、むし歯を予防する。		
幼児(4～5歳)	永久歯の萌出開始時期 (第1大臼歯)	永久歯むし歯の発生しやすくなる時期	◇乳幼児口腔保健指導事業 中央講習会 地域歯科保健連絡会 幼稚園等の刷掃指導	保育施設職員の口腔保健に対する意識の向上を図り、 幼児の歯磨きの習慣化を図る。 フッ化物応用等によるむし歯の予防知識の啓発		◇中央講習会 1回 70人 ◇地域歯科保健連絡会 各区1回 6回/年 ◇保育所・園・幼稚園の刷掃指導 50回 2,650人  ◇公立保育所歯科健診(60か所) 2歳児1,404人/1,459人(受診率96.2%) 3歳児1,448人/1,478人(受診率98.0%) 4歳児1,439人/1,457人(受診率98.8%) 5歳児1,468人/1,496人(受診率98.1%) う蝕罹患率率 2歳9.9%・3歳 <u>25.9%</u> ・4歳35.8%・5歳47.3% 3歳児:う蝕有病者の平均う蝕数 3.74本/人 健診受診者の一人平均う蝕数 0.97本
児童(6歳～) * 小学校	乳歯と永久歯の交換期	永久歯むし歯の多発期	◇口腔衛生指導 ◇口腔保健週間関連事業	歯の磨き方の指導やむし歯、歯肉炎の予防・改善を図るため児童生徒自身の健康に対する意識を高める。  口腔保健週間に口腔保健に関する健康意識の向上と正しい知識を啓発し、健康づくり推進を図る。	◇12歳児の永久歯のむし歯の1人平均本数 (ベース2.34本→中間1.36本・目標1.00本以下)  ◇歯ぐきに異常がある12歳児の割合 (ベース30.5%→中間32.3%・目標25%以下)  ◇歯と歯ぐきの状態を日頃から観察し、よく手入れをする児童・生徒の割合 (ベース小学生73.9%・中学生64.3%・目標増加) * H23:調査中  ◇定期的にかかりつけ歯科医による健診を受ける児童・生徒の割合 (ベース小学生52.0%・中学生40.1%・目標増加) * H23:調査中	◇定期健康診断(小学校) 52,236人 ◇定期健康診断(中学校) 22,679人 12歳児の永久歯のむし歯の1人平均本数 <u>1.12本</u> 歯ぐきに異常がある12歳児の割合 <u>32.3%</u>
生徒(12歳～) * 中学校	永久歯列完成期 歯周組織の過敏期	歯肉の炎症が始まる時期	◇学校歯科保健優良校表彰 ◇歯と口の健康づくり啓発事業 ◇歯医者さんの喫煙防止教室	心身ともに成長・発育している重要なステージにある児童生徒に対して、発達段階に応じた保健指導を行い、 生涯を通じての自立的口腔保健行動の形成を促す。  タバコに興味を持つところであり、また歯肉炎が急増する中学生の時期に、口腔内への影響等について、歯科医の視点に立った喫煙防止教育を行う。		◇口腔衛生指導 小学校8,769人・中学校7,610人 ◇口腔保健週間関連事業 学校歯科保健推進事業 健歯児童生徒・学校歯科保健活動推進校(学校賞)表彰 口腔保健図画・ポスター・8020運動普及標語の募集 学校歯科保健優良校表彰事業 ◇歯と口の健康づくり啓発事業 小学校6校1,663人・中学校2校751人 ◇歯医者さんの喫煙防止教室 中学校5校1,378人
生徒(15歳～) * 高等学校	第3大臼歯萌出	むし歯が放置されやすく歯周病の発生が始まる時期				
成人(青年期) * 学校卒業後～	歯周組織の脆弱期	歯周病の急増	◇成人歯科相談 ◇健康教育・講演会	歯周病予防の正しい知識や技術の普及 歯間部清掃用具の使用の推奨 かかりつけ歯科医での定期健診の推奨  歯周疾患と全身疾患の関連性、歯周病予防等正しい知識の普及	◇歯間部清掃用具を使用している人の割合(20～59歳) (ベース39.5%→中間42.8%・目標50%以上) * H23:調査中  ◇歯周疾患検診受診率 (ベース9.3%→中間10.5%・目標25%以上)	◇成人歯科相談 171回 1,791人  ◇健康教育・講演会 55回 1,797人  ◇歯周疾患検診 2,899人/54,766人(受診率5.3%) 進行した歯周炎を有する人の割合 〔40歳 35.9%〕 〔50歳 43.1%〕 〔60歳 53.0%〕
成人(40歳～)	歯の喪失開始時期	咀嚼機能の低下が始まる時期	◇歯周疾患検診(40・50・60・70歳) ◇訪問指導	高齢期における健康を維持し食べる楽しみを享受できるよう、歯周疾患を早期に発見し、歯の喪失を予防する。  訪問の保健指導により、口腔衛生状態の向上を図る。	◇進行した歯周炎を有する人の割合 〔40歳 ベース35.3%・目標32%以下〕 〔50歳 ベース47.4%・目標43%以下〕 〔60歳 ベース 52.9%・目標48%以下〕	60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合 <u>83.5%</u> 70歳で22歯以上の自分の歯を有する人の割合 <u>74.5%</u>
高齢期(65歳～)	歯の喪失急増期	咀嚼機能の低下 (義歯装着者急増)	◇口腔ケア事業 ◇元気アップ教室・元気アップ相談 ◇シニア健康づくり教室・シニア健康づくり相談 ◇健康教育・講演会	介護予防の取り組みが必要と判定された方に、口腔機能状態を把握・評価・指導し、摂食、嚥下機能低下の早期発見及び悪化を予防する。 介護予防の取り組みが必要と判定された方に、正しい知識や技術の提供し、口腔機能向上を図る。  口腔ケアの知識の普及 かかりつけ歯科医での定期健診の推奨	◇60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合 (ベース78.6%・目標増加)  ◇70歳で22歯以上の自分の歯を有する人の割合 (ベース71.5%・目標増加)	◇口腔ケア事業 91人/431人(受診率21.1%) ◇元気アップ教室 212回783人・◇元気アップ相談 22回72人  ◇シニア健康づくり教室 187回2,516人 ◇シニア健康づくり相談 58回 214人 ◇健康教育・講演会 18回 388人
心身障害(児)者	歯の形成不全及び唇顎口蓋裂等	広範性のむし歯発生等 咀嚼・発音障害	◇訪問歯科診療(保健医療事業団) ◇ねたきり老人・心身障害者(児)歯科診療(保健医療事業団)	「在宅ねたきり者」で通院が困難な方に対して、歯科医療サービスを提供し、心身の健康保持増進を促進する。  一般の歯科診療所での治療が困難な「ねたきり老人」「心身障害者(児)」に歯科医療サービスを提供し、健康の保持増進を図る。		◇訪問歯科診療事業(ねたきり40歳以上) 25人 ねたきり老人歯科診療 235人 心身障害者(児)歯科診療 456人  ◇訪問診療(自宅)を行っている歯科診療所率 千葉医療圏5.6%(全国12.1%・千葉県9.4%) (H20年医療施設調査 厚生労働省)
全年齢			◇ヘルシーカムカム ◇歯みがき&でんたるカップミニ・サッカー大会等	イベント等の実施により歯科保健知識の普及啓発		◇ヘルシーカムカム 3,848人 ◇歯みがき&デンタルカップミニ・サッカー大会 約2,500人